

徴収猶予を受ける限度額又は猶予期間の計算書
〔この計算書の「本年分」、「前年分」などの年分は、徴収猶予を受けようとする年分を「本年分」とし、以下これを基準として定めています。〕



納税地 _____

氏 名 _____

1 前年分の所得金額

所得の種類	種 目	支払者の名称・氏名 又は所得の生ずる場所	収 入 金 額	給与所得控除額・公的年金等控除額・必要経費	所 得 金 額
給 与			円	円	円
合 計					①

(注)「所得金額」欄には、分離課税の譲渡所得については、特別控除前の金額を記入してください。

2 前年に受けた災害による損失額

損害の原因	損害年月日	損害を受けた資産の種類など	損 害 金 額	保険金などで補てんされる金額	差 引 損 失 額
			円	円	② 円

3 前年分に繰り越された繰越雑損失の金額

〔前々年以前3年間に災害を受けた人で災害を受けた年分以後引き続き申告書を提出している人に限ります。〕

前々年の災害に係る繰越雑損失の金額	前々々年の災害に係る繰越雑損失の金額	前々々々年の災害に係る繰越雑損失の金額
① 円	② 円	③ 円

4 本年分に繰り越される繰越雑損失の金額 (③の金額が0か赤字の人は、この徴収猶予を受けることはできません。)

(1) 前年分に繰り越された雑損失の金額のない場合 (上記3の金額がない場合)

$$\left\{ \begin{array}{l} \text{②差引損失額} - \text{①} \times 10\% \\ \text{②のうち災害関連支出の金額} - 5 \text{万円} \end{array} \right\} \text{円 と } \text{②のうち災害関連支出の金額} - 5 \text{万円} \text{円 とのいずれか多い方の金額} \\ - (\text{①} - \text{分離譲渡の特別控除額}) = \text{③} \text{円}$$

(注) 差し引く順序については、確定申告書(損失申告用)の書きかたを参照してください。

(2) 前年分に繰り越された雑損失の金額がある場合 (上記3の金額がある場合) で前年分に災害による損失額がないとき

イ ①又は②の金額がある場合で③の金額がないとき

$$(\text{①} + \text{②}) - \text{①} = \text{③} \text{円}$$

ロ ①又は②の金額のほか③の金額もある場合

$$(\text{①} + \text{②}) - (\text{①} - \text{③}) = \text{③} \text{円}$$

(赤字のときは0)

(3) 前年分に繰り越された雑損失の金額がある場合 (上記3の金額がある場合) で前年分に災害による損失額があるとき

イ ①又は②の金額がある場合で③の金額がなく、「①+②」の金額が①より大きいとき

$$\text{②} + \{ (\text{①} + \text{②}) - \text{①} \} = \text{③} \text{円}$$

ロ ①又は②の金額がある場合で③の金額がなく、「①+②」の金額が①より少ないとき

$$\text{①} - (\text{①} + \text{②}) = \text{③} \text{円}$$

$$\left\{ \begin{array}{l} \text{②差引損失額} - \text{③} \times 10\% \\ \text{②のうち災害関連支出の金額} - 5 \text{万円} \end{array} \right\} \text{円 と } \text{②のうち災害関連支出の金額} - 5 \text{万円} \text{円 とのいずれか多い方の金額} \\ - (\text{③} - \text{分離譲渡の特別控除額}) = \text{③} \text{円}$$

ハ ①又は②の金額のほか③の金額もある場合で、「①+②+③」の金額が①より大きいとき

$$\text{①} - \text{③} = \text{③} \text{円 (赤字のときは0)}$$

$$\text{②} + (\text{①} + \text{②} - \text{③}) = \text{③} \text{円}$$

ニ ①又は②の金額のほか③の金額もある場合で、「①+②+③」の金額が①より少ないとき

$$\text{①} - (\text{①} + \text{②} + \text{③}) = \text{③} \text{円}$$

$$\left\{ \begin{array}{l} \text{②差引損失額} - \text{③} \times 10\% \\ \text{②のうち災害関連支出の金額} - 5 \text{万円} \end{array} \right\} \text{円 と } \text{②のうち災害関連支出の金額} - 5 \text{万円} \text{円 とのいずれか多い方の金額} \\ - (\text{③} - \text{分離譲渡の特別控除額}) = \text{③} \text{円}$$